

例会日: 木曜日 12:30~13:30 例会場: 尼崎市昭和通2丁目7番1号 都ホテル 尼崎  
 毎月最終例会 18:30~19:30 事務局: 尼崎市昭和通2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター5階  
 TEL 06(6401)7573 FAX 06(6401)7590  
 URL <http://amagasaki-southrc.com/> E-mail [amasrc@amagasaki-southrc.com](mailto:amasrc@amagasaki-southrc.com)



会長 島谷 太 / 幹事 正木 英樹 / 広報委員長 川岸 邦充

VOL.37 No. 7 2024-2025

Today's Program	Next Program
8 月 22 日 (第 1696 回例会)  「 雑感 」  川岸 会員	8 月 29 日  「 若い社員は、ほめ育でしか育たない！ ～離職ストップ、生産性向上へ～ 」  原 邦雄 氏

前回(8月8日)の報告

1. ソング  
「 海 」

2. ビジター紹介  
天野光 氏 (古典芸能案内人)



3. 会長の時間

「日本ロータリーの歴史 ターニングポイント」  
 前述した通り、1920年に設立した日本最初の東京RCは、超一流メンバーの顔ぶれから「エリート型」であった為、ロータリー創立理念である「相互扶助」や「定款細則」への関心の低さから、RIとは違い例会も月1回で、出席率もわるい状況が続き、設立数年で存続の危機にありました。その状況にショックをあたえたのは、1923年9月に発生した関東大震災でした。東京、横浜が壊滅したとの報が伝えられるや、直ちにRIから大阪の福島氏に見舞電報と共に2.5万ドル、シカゴRCから1,500ドル、サンフランシスコ、ニューヨークRCから各1,000ドル、他503もの世界中のクラブから続々義援金や救援物資が送られ、その額も8.9万ドル(現在の価値で約140億円相当)に達しました。東京RCは、この義援金を東京、横浜の小学校の再建や被災者救援などに使うとともに、この世界中のRCからの奉仕活動に具体的に接して、ロータリーの思想・活動に就いての猛省をした。  
 そして2023年11月14日の臨時総会で、月1回例会の特権を放棄し、標準定款を採用して、毎週1回例会を開くことを決定し、会員もよく出席するようになった。大震災がまさにロータリーの本質を理解する大きなターニングポイントとなった。その後東京RCは被災者保護として、東京孤児院に新築1棟を寄贈、これをロータリー・ホームと名付け以降10年後の修理を含めて東京クラブの社会奉仕の事業としてその維持がはかりました。

4. 幹事報告

- 2024-25年度 第1回理事・役員会議 議事録をBOXに入れさせて頂いておりますのでご確認よろしくお願ひ致します。
- 先日の理事会で2024-25年度プログラムの一部変更になりましたので、修正プログラムをBOXに入れさせて頂いております。
- 他クラブ例会休会・変更のお知らせ
  - ・芦屋 RC: 2024年8月14日(水) → 休会
  - ・西宮恵美寿 RC: 2024年8月15日(木) → 休会(定款に基づき)
  - 2024年9月5日(木) → 会場変更 会場: しゅんきち精肉店
  - ・尼崎東 RC: 2024年8月14日(水) → 休会
- 当クラブ来週8月15日は休会です。



